夕刊　八月十三日發行

随筆　姉たち

土屋和子

母さまにお會ひ致したくば、明朝八時發の準急にて歸甲致す心組にて、と云ふ速達が届いた。

東京に在る姉達からである。

二日續きの休日を利用して、二人の姉が盛裝を凝してやつて來た。新調づくめである。

姉達は母を喜ばせる爲なのか、田舍者の妹を驚かす目的があつてか、ともかく立派なみなりで來た。

正直者の姉たちは斯う云ふ事が母への最良の土産と思つてゐるらしい。月給生活してゐる姉たちであるつまらぬ無理をしたものだと私は思つた。

私は姉たちが着物を更へるのを待ち遠しく思つた。私にはどうしても絹物のお化けみたいな派手な姿に、姉さんと言つて素直に呼びかける氣持が湧かないのである。

私は姉の着物を隨分美しいものと思つてゐた。然し口に出すのも、顔にするのも、なんとなく自分らしく無いと思つて、なにか知ら變な氣持になつた。

新しい柄で、座つても少しも崩れない姉の着物が美しく、ピカピカする帶の背磁色の地色をたまらなく好しく思つてゐた。だけど、私には姉たちが、斯うもして歸甲して來たのを何か素直に受取る事が出來ないやうな氣がして居た。たとへ見榮とか虚榮とか世間で云ふあゝ云つた浮ついたものゝ含まれてゐるのが感じられたからである。此れは私の一番寂しい心の一ッであるが。

母は勿論喜んで居た。それに何時も變らぬ娘たちの素直な話の數々に母は充分滿足してゐる樣子だつた。

間も無く上府中に嫁いで居る姉が召集をうけてやつて來た。三番目の姉である此あねの所所へは一寸むづかしい姑が有る。云ふので、めつたに此方から訪れる事も無く、母に會ひたくなつた時にはあねが出かけて來るのである今日は特別で東京のあねたちが一晩昔に返つて喋舌らうと云ふので電話でで呼ばれて來たのだつた。

商ひ屋が好いゝ自ら進んで嫁いだ着物屋なのだが、日一日中、ハイ何を差上げます、毎度有がとうございます。で日を過してゐる姉のあねを私は何時も悲哀のめで目守つてゐるのだつた。私が例の調子で勞働は神聖なり、と云へば此の姉は苦笑するであらう。勞働は疲勞なりと云へば默つて頷くかも知れん。弱く優し過ぎる姉である。

姉たちが歸つてもう一週間は過ぎて居る。私は漸く探し出して來た十年前の家族の寫眞を見乍ら、何んとなく沈んで了ふ自分を知つてゐた。

姉の家

鈴木光子

○ひたはしる車窓に匂ふ草いきれ風となりつゝ我が面を吹く

○湯にひたり宵をこもらふ安けさよ常の日も皆かくてありたき

○うつゝなき心となりてこもらへるこの家めぐりてなける蜩

○湯の宿の庭にはちすの白々と咲けるを見れば夏たけにけり

8月14日

△蔚山沖の海戰(明治三七)△支那軍出動我空軍交戰上海空陸に激戰展開(昭和一二)△東京會談現地軍代表引揚げ斷行(同一四)

けふの言葉

○

幸福とは自分の分を知つて、それを愛することである

ロマン・ローラン

講談　夜嵐お絹　[145]

語　燕路軒鶴玉　畫　筒井年峰

屯所の調べ

三次郎は探索係の大澤と五大區の屯所に行く事になつた。

女房は心配して

「早く歸つて來ておくれ」

「用が濟めば直に歸つて來る、こッちは悪い事をした覺えはねえから何處へ出たつて驚く事はねえ」

「それでもお前さん慄はねてゐるからさ」

「ベラボウめそれは武者振ひだ、デハ旦那御一緒に參りませう」

「お内儀さん、心配しなさんな、用が濟めば直ぐに歸へしてよこすから」

と、斯う云つて三次郎を其當時猿屋町にあつた五大區の屯所へ連れて來た、茲は舊池田侯の屋敷跡今より二三十年前まで此屯所にあつた火の見櫓が殘つてゐたが今日はあの邊も軒から軒と家屋が並んで居るが其頃は町家は稀であつた。

三次郎は大澤と共に屯所の門を入り左に切れると探索部屋、徳川幕府時代に岡ッ引と云つた人力か探索係ばかり、なつてゐる。何れも江戸ッ子とて言葉が荒い。

「大澤さん、それへ連れて來たは何者だネ」

「芝居屋で三次郎と云ふ嵐璃鶴の送りさ」

「博奕でもしたかネ、芝居者は博奕がすきだからナ」

「そんな小さな事ぢやねえ、此ャつの口から毒蛇を吐き出すだらうともひ、それで連れて來たのだオイ三次郎此方へ上れ、云ふまでもねえが、重役のお調べなさる時は正直に申上げろ、隱すと爲にならねえぞ」

云はれて三次郎が、

「何う云ふ事をお訊ねになりますか私の知つてゐる事は明かに申し上げます、悪るい事をした覺えはございません」

「然うか、調べられる時は嘘を云ふな、隱し立てで隱し通す事は出來ねえから、皆な申上げてしまひな」

と注意して、同係には三次郎が向島の言問ひの堤下で云つた事が甚だ穩かでないから、それで當所へ連れて來たと告げ、尚又重役に此事を報告した、

三次郎は探索部屋でポンヤリして居たが、さてこれから先、何うなるかと思ふと何んとなく氣懸りで吐息ばかりついてゐた。

「白洲に通ンな、御重役がお調べなさる、用が濟めば直に歸してやるぜ」

「何うぞお願ひ申します」

と三次郎は大澤に連れられて白洲へ通つた、茲は五十坪ばかりの七間、正面一段高い所にテーブルに椅子が据ゑてある、吊ランプが四邊を照らしてゐる。また白洲天井には舊式の八軒と云ふ胡麻の油に燈心と云ふならば參考品で今踴い光を投げてゐる、調べる所の前には杉丸太で埒が出來てゐる。

三次郎は其白洲に宙腰になつてゐる、暫らくすると一段高いところへ出て來たのは年頃四十二、三色の赤黒い衣紋竹のやうに肩巾のピンと伸びたガツチリした體格の人物、黒羅紗の服を着て腰に劍を提げ、徐ろに腰を下し、鼻下から頬にかけて生へてゐる虎ひげを左の手でキユーと捻り、トンネルへ煞を追ひ込んだやうな奥深い眼でヂロリと三次郎を見た、これは今の警部此頃の大邏卒、

「大澤、それに居るが三次郎と云ふ者か」

「左樣でございます、オイ三次郎立て〳〵」

「ヘエ、立つて宜うございますか」

「今大羅卒樣がお調べなさるンだ下にゐては叶はねゑ立て〳〵」

「へエそれでは立ちます」

恐々〳〵立ち上つた、大羅卒はそれを見て

「モツト前へ進め」

軍隊式の號令をかけた、三次郎は慄えながらそれへ進み、

「何う云ふ御用がございますか」

「問ふことがある、明白に答へろウーム、よいか」

と云ひつゝヂロリと側を見た、三次郎は其目の方を見ると、壁の折釘に鍵縄が下げてあり、下に樫の混棒がある、是は僞りを申すと拷問にかけると云ふを表したものイヤ、三次郎はこれを見て顔色を變へた

亡父千代吉新盆に相當り候處甚だ勝手ケ間敷候得共時局柄提灯其他供物の儀一切御辭退申上候間不惡御諒承願上候

昭和十五年八月

平市田町　鈴木信雄

釋尼妙春の新盆に相當り候處時局に鑑み甚だ勝手なる儀に存候へ共提灯其他の供物等一切御贈與の儀固く御辭退申上候

昭和十五年舊七月

平市新川町　長榮重

祖先の靈を祀るお盆が近づきました

佛壇、塗位牌、佛具類一式 豐富に取揃へました

御盆の御用意は是非當店へ……

平市三丁目　丸はん商店　[電話三五九番]

故人の靈を祀るお盆が近づきました

▼祖先崇拜は家庭繁榮の礎▲

佛壇、塗位牌、佛金具類 豐富に取揃へてあります

盆の御用意は是非當店へ!

平市四丁目局向通り　佛具造花問屋　山光堂　[電話五五〇番]

四ツ倉支店　博善社　造花店

ユアサランプと電池　配給所

自轉車とリヤカーハ

平市才槌小路十二　矢野輪業商會

電話七三〇番　振替口座東京三三七〇七番

産科專門　婦人科專門

平市南町　根本醫院

(入院隨時)　電話三四番

内臓外科　整形外科　レントゲン科

醫學博士　松村亨

松村外科

平市南町　松村醫院外科部

音ガ生命

ビクターラヂオ

5R15　¥135

テレビアン　ナショナル　ビクター　代理店

富永ラヂオ店

[電四九六]

お知らせ

一、此の度東都名流美容師を招きまして、銃後女性に最も相應はしい永久性淑髪(パーマネント)を八月一日より始めますどうぞ御利用下さいませ

一、毛髪を傷めぬ高級藥品を使用致しまして充分御滿足頂ける樣努力いたします

一、料金　毛先三、九〇　全髪四、〇〇

お好みにより部分的にもおかけいたします

平市田町五[自宅電話六三八番]　研美院

和洋結髪　パーマネント・ウエーブ

夏向の髪姿數種を研究致して參りました。何卒愛顧の程を御願致します

手塚美容院　平市新田町

[徒弟入用]

江戸前　壽しと小料理

平驛中央通り

出前迅速　(立食)　すし茂　電(呼)五七〇番

平みやげ

磐城平の名所地が一目でわかる

米屋の名物最中

風味自まんの米屋の最中

平驛前通り　米屋最中專門店

日本姓名學會東北支部長

鵜沼孝昌　平市紺屋町三六

鑑定項目

名前のみて一代の運命……何んでもわかる……

體力(肉體 疾病)(健康、不健康、相貌)(病根病勢、病名)に關する一切

活動(職業 天運)(適業、不適業)(天運、成功、不成功 災厄)に關する一切

血縁(家族運 男女縁)(父母の縁、夫婦の縁 子供の縁)有無(氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切)

銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

故障の起らぬ　原口のラヂオ　AK

原口無線電機株式會社代理店

古山電氣商會

平市二丁目(警察署通り)

電話(呼出)166

平病院(平市元共濟病院跡 電話六四一番)

院主 院長　醫學博士　鈴木定藏

内科 小兒科　院長 副院長　鈴木定藏

内臓外科 一般外科 皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸

レントゲン科 物理的療法科　院長　鈴木定藏

藥劑科　部長　吉本孝平

診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス(急患ハ此ノ限リニアラズ)

宴會、御婚禮、仕出し

割烹　尼子亭

……お湯の設備あり……公園内　電話二三〇番

女中さん至急入用

幾分減るにした處で 依然今秋の豊作豫想
低温續きに微かな懸念

最初些か水不足を懸念され乍らも挿秧以來常に適順な雨量、陽氣に恵まれた地方今年の稻作は、萬頃の美田に稻のそよぎも見事に來ん秋の徴收は早くも既定の事實と観られ其間出征遺家族に對する應援の除草奉仕なども行はれ時局柄頗もしい銃後の農村風景を點描し來つた矢先き去る立秋以來の陽氣が些か低温多濕の傾向があり、以前の樂観に微かな暗翳が兆しつつあり、場所によつては輕微な虫害の發生さへ傳へられてゐるが朝夕冷涼な氣温も今の處未だ稻の發育に有害な程度には低下して居らず、今後の天候恢復によつて例の殘暑が照り出せば、過般來恐闘つかれた分は容易に挽回さるるものと観られ、豊作の見透し依然變らぬものあるが大事な時期の天候關係から當初より幾分内輪の豫想が行はれ初めた様である。

新盆家庭に砂糖
一戸一斤の切符出來上る

去る一日去月分の砂糖配給を行つた市では今月分として舊盆前にあと一回配給すべく市内業者と折衝したが間に合はぬのでせめて新盆關係の家庭にだけ配給することゝなり一軒當り一斤として今十三日切符を作製した 配給を受くべき家庭では夫々行政區長の證明を求め 上市當局から切符の交付を受けられたいど なほ一般家庭用の砂糖は大体今月末頃になるらしい

税改正による 豫算編成 指示
小名濱で指導會

縣地方課では改正税法に基づく市町村の條令改訂並に豫算編成等に關し來る二十二、三の兩日午前八時から小名濱町役場に關係者を集め指導協議會を開くがこれに基いて今年度住民税などの賦課方針も決定されると

平女子同窓總集會

平第二小學校卒業生より成る平女子同窓會總集會は來る二十一日午後零時半から母校講堂で開くが余興の映畫番組は守れ御國、次郎とその母、大學は出たけれど、こぶ取 會費十錢(茶菓代)出席者は二十日正午まで第二校へ申込まれた、と

盤面火を吐く熱戰譜
縣下大會豫選を兼ね 廿日地方棋客の集ひ

地方の同好棋客から成る互樂會の八月例會は來る二十日午前九時から市内五丁目吉田屋に於て開催さるるが今例會は來月一日福島に於て開かれる縣下大會の豫選として全參加者を三組に分け、各組の優賞者を選手として會が經費を負擔のよ檜舞台に送るわけで 平窓以上 盤面火を吐く大熱戰が展開されるものと豫想されてゐる。例によつて多數の參加を歡迎すると

追悼法會 英靈
十五日公會堂で

市では既報の如く十五日午後時から市公會堂で戰歿將士の追悼法會を行ふ 開式、辭、讀經、追悼文朗讀(齊沼市長)燒香、遺族代表挨拶、供物贈呈

簡閲點呼豫習

市在鄕軍人分會聯合會では既報の如く十五日から四日間各分會毎に今年度簡閲點呼の豫習を行ふが參會者は毎日午前七時半迄夫々所定の場所に集合の上教練、學科の教授を受けるもので戰時下特に嚴格に行はれると

小名濱で交通事故防止

小名濱町警部補派出所ではさきに交通事故防止のため自動車業者と協力、町の入口に注意標を樹てたが十二日更に同所十字路の眞中へ左側通行の標識柱を設けた

お盆中は好晴か 天候は回復して
殘暑が來さうな模樣

舊の七月も十日となれば眞菰のむしろを買ひ込んだり佛器を磨いたりお盆氣分がどうやら本格になつて來る 年一度の墓參や燒香の親戚廻りなど、盆三日の天候は出るにも入るにも關係する處頗る大きく、殊に盆踊りなどは時局柄ごく静かにやるにせよ生憎降る様な事があれば、折角の豫定が悉皆壞されてしまふが扱てこの先きの天候はどうか。測候所の觀測によると『天候は回復する』と至つて嬉しい卦面である いま高氣壓は內地北方の遙か東にあり、ち先端が二つになつてをりその一端は北海道から日本海一帶に廣がり、もう一つは內地の南海上に出張つて內地は丁度峽谷になつてゐるからぐづついてゐるわけでそこにある低氣壓が東に動きつゝあるので天候は漸次回復します、あすは曇つたり晴れたりで温度はのぼります云々 時節柄颯と來る驟雨位は免かれぬにせよ、お盆中はじめ〱した様な日も無く大体好天氣續きと見て大差ない模様である

山森校長著任挨拶

新磐中校長山森正一氏は此程愈よ著任、昨十二日市內各方面を歴訪挨拶をなした

澤山御利用下さい
餘日少い國防献金作業に 磐城訓盲院生徒の希望

既報、磐城訓盲院生徒暑中休暇中に於ける療治作業の國防献金は生徒の熱心な張り込みも空しく一般に周知を欠いてる爲め利用者が案外に少く隨つて尊い汗の收穫も今の處さして纏つた額にも上らず一同甚だ之を遺憾として居るが、期間は來る二十日迄で愈よ殘り少になつたので此際最後の一努力により幾分でも多く所期の目的に近かるべく大方の利用を熱望してゐると

極貧者にお見舞金

市社會事業助成會では既報の如く舊盆を前にして困つてゐる階級を惠むるべく市內各區長並に方面委員の手で要救護者を調べてゐたが此程纏つたので一兩日中方面委員を通じ夫々家族數に應じて見舞金を贈るがその數は昨年より幾分減じてゐる

成章女生銃後奉仕

小名濱町成章女學校では暑休を利用し一日から出征家族の裁縫無料奉仕に從ひ十二日までに五十三枚全部を仕立て遺家族を喜ばせた

市內にも幸運者あり
今の處申出で無い報國債券當籤 權利の上に眠らぬやう

過般發表された百萬圓ラッシュの報國債券當籤番號中、平郵便局賣出しのもので一萬圓或ひ五千圓等の大ものこそ無けれ小口の分では若干當籤者のあるは番號との引き合せによつて判明して居るが、未だ誰か の申し出でもないとの事で折角當て込んだ幸運に惠まれ乍ら權利の上に眠らぬ様夫々適當な方法によつて調べて見るが肝要であり最近い東京新聞にも當籤番號全部が詳細に發表されてゐる

藤吉氏坑木會社入り
地方中かりの山林技術家

良質廉價の坑木を迅速正確に提供し、銃後礦業推進の一翼をなす堅實な坑木會社が本市內に創設され その實際業務擔當者として斯道に造詣深い某山林官吏が退官就任する旨既報の如くであるが愈〻縣山林課技師藤吉仁太郎氏が挂冠同社入りが發表された

藤吉氏は市內中平窪出身盛岡高農出の技術官として二十年前鳥取縣から來任今日に至つた人で飯島無盡金庫比佐賢司常務、湯本松柏館主比佐榮一、市內末廣主人比佐三郎諸氏の從兄に當る地方ゆかりの人である

夏蔬菜立毛品評會

市農會では此程夏蔬菜の立毛品評會を催した入賞者左の如く褒賞授與式は二毛作の分と共に今秋行はれる

△一等馬鈴薯林末代守、ナス吉田文助 △二等胡瓜松本晃一、ナス高田彌內、馬鈴薯澤葉義雄、石井爲清 △三等ナス鈴木三郎、大和田保壽、鈴木國藏、胡瓜松本一、木田一郎、馬鈴薯小野龜松、草野松彌 南瓜吉田文助

陣中を聽く
(823)

行軍の兵には美味い 濁水を飲んでも平氣
紺屋町出身 西脇健吉君(通信)

承前。烈日下を軍裝で行軍する兵隊に汚いも何もあればこそ美味さうにゴクく飲んで身体を壞さずケロリとして居るのには驚きます、尤も支那人が飲むのですから我々とて大丈夫 併しな譯です。我々が通過して來た街は殆ど空爆と砲火の洗禮をうけて破壞され荒々と夏草の茂るに任かせて今は昔の影もなき廢墟と化して居りますのも哀れです、全く敗戰國はみじめですね。我々も故國の皆々樣の絶對的御支持に酬ゆるべく自重自愛尙一層奮闘する覺悟です。

さて長々書きましたが再びそのうち目新らしいニュースがありましたらお便り致します。では皆様方御身御大切に。早々

愛馬に感涙
元入山砿業員 遠藤三次君

其の次の月も我が部隊は未明より出發準備をなし、山又山の難行軍が續き登れば下り下れば又登り數尺足らずの細道傳ひ 一步誤れば千仭の谷底へ愛馬諸共まれて付舞ふ危險を冒し乍ら夕闇迫る頃部隊は漸く或る小さな部落に辿り着きました 此も今日もどこにか無事に着いた一滴滴しの影を眺め涙が出る程嬉しく夢で皆中が見る變でこすつりました。明け方は今日目的地なる○○に着く嬉しさで一杯だつた。幾多の困難を冒し數日に亘る勞苦も今にして酬いられ任務果した戰友の頬には熱い涙が傳つて居りました。

至つて元氣
市內出身 上野伴吾君

暑中御見舞有難く候 平素は意外の御無沙汰を致し失禮の段平に御許し下さい度候。昨今の暑氣は殊の外凌ぎ難く候處御一統様には御障りもなく候哉御伺ひ申上げ候、次に小生至つて元氣で軍務に服務罷在候間乍憚御放念下され度候、時節柄皆々樣御自愛專一に祈り申上候。敬具

漁村青年幹部講習
あすから江名青年校で

本縣漁村青年幹部指導者講習會は明十四日から四日間江名町青年學校に開き漁村青年の時局認識を徹底し産業報國の實践道に邁進せしむる、となつたが參加資格は町村青年團員の推薦した青年團指導者並に幹部六十名で 講師左の如し

▲漁村青年團の活動、大日本青年團農漁課長石原始良 ▲國防と漁村青年の任務、仙臺地方海軍人事部川村少佐 上野良平 ▲時局下漁村振興策並漁業經營の改善 農林省農林技師齋藤正之 ▲縣水產業の振興に就て 福島縣水產課長軍校巖三郎 ▲時局の重大性と青年の覺悟、福島縣社會教育課長佐藤庸男 ▲水産物增殖の技術的諸問題、福島縣水産課農林技手澁谷啓一 ▲宿泊及各種訓練、福島縣社會教育主事補矢部八郎 ▲同、同黒木喜一

研美院好評
永久性淑髮流行る

技能と施設の完備を誇る市內田町研美院では既報の如く東都名流美容師を招き去る一日から銃後女性にふさはしい永久性淑髮(パーマネント)をはじめてゐるが洗練されたお手並みによつて仕上り時間は普通の約半分(二時間位)料金も毛先三圓五十錢・全髮四圓の破格値で高級藥品によつて毛髮を傷めぬ特徴もあり植田、小名濱など各方面からの客で好評を博してゐる

お披露目

湖月から昨日「菊枝」が出現、よろしくとある

營林署長異動

平營林署長技師 山崎泰藏 依願免本官 今治署長技手 橋爪靜男 任營林署技師 命平營林署長

木炭組合指導員會

濱三郡木炭同業組合では十五日午前十時から平市團体事務所に指導員會を開き規格改正に伴ふ指導要項の變更につき協議する

拈華微笑

□血眼で番號を調べる人にはボカン。皮肉は報國債券抽籤にも

□萬頃の美田に見事な稻のそよぎ。少し位の低温を吹飛ばして豊作は動かぬ處

□冷涼の風を追ふ丈けの眞面目な漫歩、此所にも盆前の銃後夜景

□盤面火を吐く熱戰譜。期待さるる互樂會棋客の集ひ

□佛器磨く河原に寂し月見草

舊七月十一日 水曜 己丑 大安 執 軫宿 新八月十四日

▲一白 己が力を量らず前にのみ進むときは失敗す▲二黒 投機的の事には成るべく手出せぬ様すべし▲三碧 親近同仁人を見ること我が身を見る如くせよ▲四綠 自己を信ずること過大なれば失敗を招くべし▲五黄 金運あり武運あり自重せば更に大に用らる▲六白 目上の受へは吉けれど同れうに容れられぬ日▲七赤 出づるにはしての利得あり何事も進めて吉▲八白 平凡に流るゝとも無事なるを給かうとすべし▲九紫 無二帝運の日文學上の事には取り分け吉し

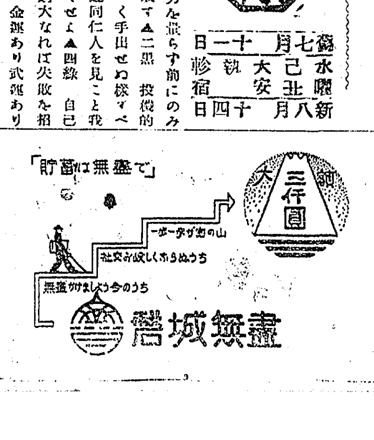
十四日 【小名濱測候所觀測】

滿潮 前 三、四五 後 ――
干潮 前 七、五五 後 七、五五

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晩 南東から北の風晴たり曇
明日 北から南東の風同

廣告



磐城無盡

化學が生んだ物理療法

適應症 高血壓症 中風病 呼吸器病 胃腸病 心臓病 脚氣 痔疾患 神經痛 泌尿 生殖器諸症 ロイマチス 婦人病 蓄膿症 喘息 小兒虛弱體 其の他

難病磁氣療法

最新式の器械を設置致しました、皆様の內に 樣々の御病氣でお苦しみの方も又は樣々の治療を加へても更に全治せざるお方も御座いませうからお試しに病院へ御出で下さい。治療料は至極低廉 遺家族へ特に割引す、貧困者は實費又は無料

醫學界の大家推奬
東京帝國大學醫學部醫長 眞鍋嘉一郎先生
村上病院長 醫學博士 村上幸夫先生
佐多病院長 醫學博士 佐多芳夫先生

藤山常一博士發明 世界七ケ國特許
マグネタイザー 磁氣療法
毎日(午前八時より午後六時まで)
百聞は一見に如かず物理療法を試みよ

治療所 平市驛前田町(平市役所通り) シンガーミシン內(二階)
物理療法磁惠院
◎難病にて苦しみの方は一日も早く試みよ